

# 平成24年度 検索エキスパート研修[上級]実施報告

平成25年3月

平成24年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では、検索エキスパート研修[上級]を3回実施いたしました。

本研修は先行技術調査の業務に従事すること等により、特許法についての十分な知識を有する者を対象とし、先行技術調査能力を一層向上することにより、出願及び審査請求の適正化に資する人材の育成を目的にしている研修です。

1. 研修の概要											
(1) 日程	(第1回)			(第2回)			特許(第3回)		特許(第4回)		
	6月26日～29日			9月18日～21日			中止		3月12日～15日		
(2) 開催地	東京 経済産業省別館			東京 経済産業省別館					東京 経済産業省別館		
(3) 申込者数	57名			27名					31名		
(4) 参加人数 (分野別内訳)	55名			23名					31名		
	機械	化学	情報通信	機械	化学	情報通信			機械	化学	情報通信
	18名	16名	21名	10名	6名	7名			10名	7名	14名
(5) 受講証書交付人数	49名			23名					29名		
(6) 講師	8名			8名					8名		
2. アンケート結果											
(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	18名	41%	10名	50%					15名	65%	
・知識や能力が向上した (有意義であった)	26名	59%	10名	50%					8名	35%	
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	0名	0%	0名	0%					0名	0%	
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%	0名	0%					0名	0%	
・無回答	0名	—	0名	—					0名	—	
(2) 主な意見・要望	同じ知財の業務をされている方とのグループ討論が様々な考え方を学ぶことができ、非常に有意義であった。										
	ある程度調査の王道を知りたかったのですが、分野により手法が異なることを思い知らされました。										
	審査官の審査過程・思考・ノウハウにふれることができ、大変参考になった。										
	審査官目線の調査(検索方法)・考え方を知ることができ、実務に活かそうと思った。										
	日常の調査業務における取り組みがより明確になった。調査手法についても、業務に取り入れるべき点が数多く見出せた。										
	有意義であったが、難易度が少し低かった。										
(3) アンケート回収率	44名	80%	20名	87%					23名	74%	